

いっしょに通信

2020年10月23日発行

211号

「いっしょに通信」は
略して「いっしょ」
いつも読んでいただ
きありがとうございます。

こんにちは！平川です。毎週日曜日の夜が待ち遠しかった「半沢直樹」が終ってしまいました。原作者の池井戸潤さんは、大学を卒業後、三菱銀行へ入行され、32歳で退職。そこから作家を目指され、数多くの代表作を出されます。個人的には「空飛ぶタイヤ」が好きですが、下町ロケット、陸王、イサイドゲーム、どれもはまりました。私も一度でいいから、大勢の方に面白いと言ってもらえる、そんな小説家になつてみたいんです。では今月もはりきりしていきます。

唐突ですが、ちょっとイメージしてもらえますか？貴方はある作家の大ファンです。その小説はほとんど持っています。仮にその作家をAさんとしましょう。ある夜、貴方は自転車に乗っていたところ、バスと交通事故にあいます。そのまま意識を失い、数日後、病院で目覚めました。するとその世界は、なんと作家のAさんが存在しない世界でした。何かの拍子に並行世界（パラレルワールド）へ入ってしまったのです。世界中の誰もAさんの事を知りません。ところが貴方の部屋

には、Aさんの小説があります。そこで貴方がとる行動は次のどちらですか？一つは、Aさんの小説を貴方だけのモノとして、このまま一冊を過ごす。もう一つは、Aさんの小説をパソコンで打ち直し、出版社に売り込む。（貴方は巨万の富と名声を得る事が出来ます）

さあ、貴方ならどうされますか？

「イエスタデイ」

（あらすじ）映画「イエスタデイ」をご紹介します。主人公のジャックは、アルバートをしながら、プロミュージシャンを目指していますが、コンサートには5人だけ。まったく売れず夢をあきらめかけていました。そんなある夜、ジャックはバスにはねられ入院をします。退院後、友人の前でビートルズの名曲「イエスタデイ」を歌います。すると友人は、目を丸くさせ、「美しい曲だね、いつ作ったの？」と感動で涙ぐみます。「俺の曲じゃない、ビートルズの曲だ」と言いますが、友達は「誰、それ？」とまったく知らない様子。ジャックは、みん



なから、かつがれていると思ひ怒ります。戸惑いながら家へ帰り、試レにインターネットで「ビートルズ」を検索してみると、まったく出てきません。そこに出てくるのは昆虫だけ。自分だけしかビートルズを知らない世界に変わったことに気づきます。これをチャンスだと思ったジャックは、ビートルズの曲を自分の曲と偽り、ロックスターの階段を駆け上がりていきます。ところが人気が出るにつれ、次第にジャックの中で、盗作という罪悪感と、いなかばれるかもしれないという不安が、大きくなっていくのでした。そんなある日…

（感想）存在しないのは、ビートルズだけではありませんでした。コカ・コーラも無くなっていました。おそらく理由は、カムフラゲザーの歌詞に「コカ・コーラが出てくるからでしょうが。またビートルズの影響を大きく受けたバンド「オアシス」も存在しません。そんなクスッと笑えるネタが随所に散りばめられています。また冒頭で「小説をパソコンで打ち直し…」と書きましたが、映画ではビートルズのレコードも存在しません。そのため、ジャックが歌詞をうまく思い出しがれないところが、またこの映画を面白くしています。フィクション映画として大いに楽しめますが、私は思うのです。繁しめるのは、ビートルズのメンバーや曲、また様々な功績を知っているからです。私の二人の息子は、大学生と高校生です。二人はビートルズの曲を聞いたことはあっても、メンバーの顔や名前、ましてやジョン・レノンが暗殺されたことなど知らないでしょう。今後知らない世代は増えていきます。もしかすると映画のような世界りが近づいているのかもしれない。まんざらフィクションじゃない？忘れられぬよう、あらゆる文化を後世へ伝えていくのは、私たちの義務なのではないか。さてこの映画はラストリとしても十分に楽しめます。ジャックの結末は？そしてラストに思わず息をのむシーンもあり私はここで涙腺崩壊でした。メールに予告編を紹介しています。洋楽好きの人にオススメです。ご家族でどうぞ。



発行／有限会社アサム
〒819-1127 福岡県糸島市有田中央 2-14-36
Tel: 092-321-4001 Fax: 092-321-4002
・専門学校&スクールサーチ : <http://www.asamnet.jp/>
・ブログ : <https://itorinri.com/>